

## U12 指導ガイドライン刊行にあたってのご挨拶

このたび、U12 指導ガイドラインが刊行されるとのことを、大変嬉しく思います。

世界中が新型コロナウイルス感染症の影響を受ける中で、困難な状況は今も続いています。子どもたちのためにU12世代の方々が活動を継続いただいていることに深く感謝を申し上げます。

本ガイドラインはU12世代の指導環境を向上させるために作成されました。

当協会では「バスケットで日本を元気に」の理念を掲げており、本ガイドラインの刊行により、U12世代に関係する皆様が子どもたちの健やかな成長により寄与していただけることを期待しています。

コロナ禍においてまだまだ予断を許さない状況ですが、自分を守り、仲間や家族など大切な人を守りつつ、それぞれが最大限の感染対策に取り組んでいただき、U12世代の活動を行っていただきますようお願いいたします。

公益財団法人日本バスケットボール協会 会長 三屋 裕子



U12 指導ガイドライン刊行にあたり、ご挨拶を申し上げます。

U12世代を導いて頂く皆様には、子どもたちをバスケットボールの扉を開き、誘い、そして楽しさを教え、多くのバスケットボールファミリーを作り続けていただいていることについて、改めて技術委員長として深く感謝申し上げます。

ご存じの通り、東京2020オリンピックにおいて5人制男子は45年ぶりに出場、女子は史上初の銀メダル、3×3代表は男女共に入賞と、世界に日本バスケットボールの存在を知らしめてくれました。

これからのバスケットボール界は、東京2020を契機としてさらに発展を目指し、当協会の理念である「バスケットで日本を元気に」をより推し進め、皆様のU12世代においてもより楽しんでいただける環境作りを進めたいと考えております。

本ガイドラインでは、小学生世代の特徴を踏まえ、チームの在り方や登録移籍の在り方、世界との比較を踏まえた指導方針や指導内容、指導方法について共有・紹介をしています。また、これから育成世代にとってはとても大切なリーグ戦制度についても言及しています。

是非とも本ガイドラインを参考にいただき、日本のバスケットボール界がより元気になれば幸いです。

みんなで笑顔「楽しく・一生懸命」バスケットボールに取り組めるよう頑張りましょう。

公益財団法人日本バスケットボール協会 技術委員長 東野 智弥

